

北小岩江戸川町会 18班

第一回「まちづくりワークショップ」の概要をお伝えします！

12月2日・4日に行いました「まちづくりワークショップ」にご参加いただき、ありがとうございました。

第一回まちづくりワークショップは、18班地区を災害に強い安全・安心なまちにするために、道路の配置・幅員と減歩率の関係をご確認いただくとともに、減歩率の仕組みをよりご理解いただくために皆さんでお話し合いなどをしていただきました。また、共同化のメリット・デメリットについての説明もさせていただきました。

今回のニュースでは当日の様子をお伝えいたします。

(注) 第一回まちづくりワークショップでご検討いただいた内容は、直接事業計画となるものではありません。

《当日のプログラム》

- ステップ1) はじめに～沿川まちづくり課長あいさつ
北小岩江戸川町会あいさつ
スタッフ紹介
- ステップ2) グループ内自己紹介
- ステップ3) 区画整理の減歩について考えてみませんか
- ステップ4) 必要な道路幅員を話し合ってみて下さい
- ステップ5) 減歩率を計算してみてください
- ステップ6) グループごとに発表をお願いします
- ステップ7) 減歩率を軽減する方法を考えて下さい
- ステップ8) 建物の共同化を考えてみませんか
- ステップ9) 最後に区から



ステップ3 4m、5m、6mの幅員別の道路を会場の床にテープで設定し、道路の使い勝手や、実際に車がすれ違えることができるのか等について、幅員別道路の特徴を体験していただきました。

「4mでは車のすれ違いが難しいが、減歩率は少ない」
「6m道路もいいが、減歩率が大きくなってしまったので、車のすれ違いを考えて5mがいい」などのご意見がありました。

ステップ3 減歩の内容について、まちづくりの専門家より説明を行いました。専門家から「家屋の建て替え再築にあたっては、建築基準法で4m以上の道路に接していなければなりません。18班地区の現状道路のままでは、多くの方が建物を建て替えることができません。建て替えの際には、多くの方々には後退していただく必要があります」などの説明がありました。





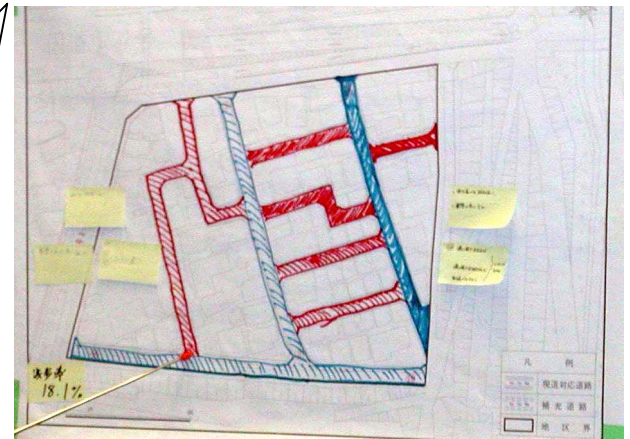
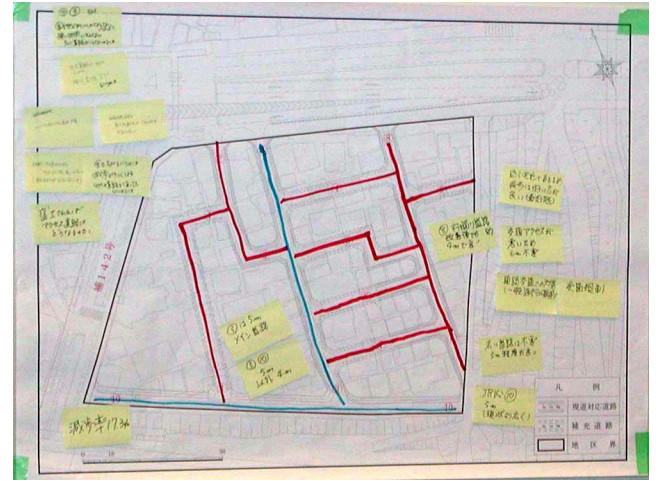
ステップ4、5 現在の住宅配置のまま、必要な道路を増やし道路幅員を広げると、どのくらいの減歩率になるのか、またこの地区の道路にはどれくらいの幅員が必要なのかなどを話し合っていました。

そして、話し合っていた結果を、18班地区の地図に記入していただきました。

ステップ6 最後に各グループで幅員ごとに色分けされた地図を貼り出し、どうしてそのような幅員になったのかなどの話し合われた内容や減歩率について発表していただきました。

その際に様々な意見をいただきました。主な意見は以下の通りです。

- ・JR沿いの道路は広げて、千葉街道に車が抜けられるようにしたい。
 - ・JR沿いから国道14号につながる道路は、救急車や消防車が通れる6m道路にしたい。
 - ・6m道路では通過交通が多くなり、減歩率も高くなってしまふ。
 - ・生活道路は、容積率が低くなくても4mでよい。
 - ・現在のコミュニティが維持できるような幅員にしたい。
- ……など



**頂いたご意見は、まちづくりを検討する参考にさせていただきます。
ご参加頂いたみなさま、お疲れ様でした。**

第二回 まちづくりワークショップのお知らせ

第二回まちづくりワークショップは、第一回と同様にA・Bの2グループにわけて2日間行いたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時	1/13 (土)	午後7時～9時 (予定)	前回のAグループの皆さま
	1/15 (月)	午後7時～9時 (予定)	前回のBグループの皆さま

場 所 小岩アーバンプラザ集会室

※詳細な内容につきましては、年明けの18班まちづくりニュースにてお知らせいたします。

☆先日配布させていただきましたアンケート調査へのご協力をお願いします。

返信用封筒にてポストにご投函下さい!

なお、結果については次回のまちづくりワークショップで報告させていただく予定です。

<お問い合わせ先>

えんせん

沿川まちづくり課推進第一係まで TEL 5662-6735

【URL】 http://www.city.edogawa.tokyo.jp/sec_ensen/index.html